

授業科目 制作論演習

Theory of the Execution of Works Art and Seminar

担当 勝野 眞言 中村 賢次
永田 郁 熊谷 有展
有田 巧 楠元香代子
鹿見 喜陌

この科目では、専門性の異なった複数の教員から、各々の専門の立場からの理論や制作上の指導はもちろん、教員同士のコラボレーションを通じて生まれる新しい造形表現の可能性に対する示唆、制作指導を受け、従来の固定化した彫刻、日本画、洋画、芸術基礎理論の分野、領域に拘泥しない新しい教育・研究・制作を目指す。学生は自己の最も興味あるテーマに即した、教員2名から指導を受けるものとし、獲得した広範な視野と知識をもとに、創造意欲の高揚と、より高度な理論・制作技術の確立を目指す。予測されるテーマの例として、表現における、

- ・量（マッサ）と空間の調和に関する研究、
 - ・情景創出に関する研究、
 - ・コンポジションに関する研究、
- などがあげられる。

授業科目 美学・芸術学特論

Specific Theory of Aesthetic and Science of Arts

担当 関根 浩子

美学・芸術学の中からいくつかの主要な問題を取り上げ、それらについて文献や資料を用いて検討する（院生自身による研究発表を含む）。

たとえば、

- ・芸術の種類
 - ・時代様式と個性
 - ・美術史学と美術批評
 - ・印象主義と表現主義
 - ・レアリズム
 - ・完成と未完成
 - ・芸術における狂気
 - ・西洋美術と東洋美術
- など。